



Fluid Art

フルイドアートは

アクリル絵の具に液体の「ポーリングメディウム」を混ぜて流動性を高め、キャンバスに流し込む絵画技法です。絵の具の流れる動きや混ざり合いによって、偶然生まれる美しい模様を楽しめます。絵心がなくても、誰でも簡単におしゃれな抽象画が作れる点が魅力です。1930年代にメキシコで発祥し、現在はSNSを通じて世界中で数百万人以上が楽しむ大人気のアートとなっています。

初めての個展を開くにあたり、100枚以上のフルイドアート作品を描きました。書き方も、流し込み手法や引き釣り手法、回転手法等、複数の技法があります。この技法次第で、違った印象の絵画となりますので、ぜひ、その違いを楽しんでいただければ幸いです。

フルイドアートだけの個展はかなり珍しいと思います。皆様の心に何かが残りますように祈っています。

Profile

関 幸子

東京都三鷹市大沢に生まれる。

三鷹市立大沢台小学校に新任できた図工の西村先生から3年間にわたり、鉛筆でのデッサン基礎と製図用ロットリングでの製図デザイン、油絵を習う。

この西村先生との出会いによって絵やデザインの楽しさを知る。

その後中学、高校はバスケットに夢中となり、自由時間に独学で絵を描く。

法政大学アカデミー合唱団時代は、内務マネジャーに就任し、アーリーサマーコンサート、定期演奏会、演奏旅行用のポスター、チケット、パンフレットのデザインと編集を行う。音楽を表現するデザイン、集客を上げるデザインに苦心する。

三鷹市役所時代には、三鷹市井の頭在住の外務大臣賞、内閣総理大臣賞受賞した墨絵画家である呉斉王氏に墨絵を学ぶ。墨絵は引き算の絵画であり、墨の濃淡や筆遣いで表現すること、書き換えができないLIVE感、緊張感ある絵画であり、幽玄の世界を楽しんだ。

コロナ下で、YOUTUBUで世界で親しまれている「フルイドアート」に出会い、夢中になり、今はフルイドアートを中心に描いている。

Access

Space WOW



〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1丁目21-4
SCOOPビル 1F